

令和4年6月19日(日)に、令和4年度地域づくりネットワーク長野県協議会松本支部事業として、地域づくりセミナー「こどもとおとなの居場所づくり～SDGsの視点から～」を開催しました。

令和4年度の松本支部事業として、6月19日(日)に、塩尻市のえんてらすで、地域づくりセミナー「こどもとおとなの居場所づくり～SDGsの視点から～」を開催しました。

【開催内容】

1 午前の部

(講師)



上間 春江(うえま はるえ)氏

- ・臨床心理士、心理カウンセラー
- ・子育て相談室「虹のかけはし」、市民団体「子どものミカタプロジェクト」代表
- ・専門分野は、不登校、発達障がい、特別支援教育、子育て支援など
中学校の相談員として活動をスタートして以来、0～20歳までの子どもに関わる様々な現場で子育て支援や教育相談に携わる。専門家としての視点に加え、母親としての当事者目線を大切にしたアドバイスには定評がある。

(内容)

テーマ「子ども達が未来に希望を持てる地域とは？」

- ① 臨床心理士による地域の子どもの現状と課題
- ② グループディスカッション
様々な子ども達がいるこの地域で、自分たちが行う立場で、何が出来るか、活動をする上で大切にしたいことなど、それぞれの想いを分かち合い、改めて、自団体の活動の指針を言葉にする
- ③ 講座のまとめ

ゼロ歳から20歳くらいまでの子どもと子どもに関わる大人たちに関わってきた臨床心理士から、これまで出会ってきたこの地域の子どもの現状と課題、立ち直るきっかけについてのお話を伺います。

子ども達のおかれた状況が多様化する中、様々な悩みや困難を抱える子どもも数多くいます。そんな子どもたちが、未来に希望をもって自分らしく生きるために、地域にどのような場があるとよいのでしょうか？受講生同士で気づきを分かち合い、考えていく時間とします。

(セミナーの様子)



講師の上間春江さん



グループディスカッションの様子



中村支部長によるSDGs講義



中村支部長によるSDGs講義

2 午後の部

(講師)

栗谷 さと子 (くりや さとこ) 氏

- ・旅する絵描き (イラストレーター)
- ・旅やゲストハウス運営を通して得た経験や人的ネットワークを活かして活動を展開中。松本市浅間温泉の下宿 (シェアハウス) で暮らしながら、常に他者の多様な価値観、生活スタイルに触れる日々を送っている。



【全体ファシリテーター】

中村 健 (なかむら けん)

- ・地域づくりネットワーク長野県協議会 (やまびこネット) 松本支部支部長
- ・風土考房トナカイ代表
- ・地域づくりコーディネーター・ファシリテーター



(内容)

テーマ「こどもとおとなのつながりから始まる街づくり」

① こどもとおとなの居場所づくりとは

こどもとおとな、誰一人取り残さない地域づくりについて、SDGsの視点から、やまびこネット松本支部支部長中村健から一言！

② ワークショップ

住み続けたいくなる楽しい街を探るグループワークです。

③ 全体のまとめ

ずっと住み続けたい楽しい街ってどんな所だろう？自分の理想の街は？みんなの理想の街は？それぞれの理想を考え、グループワークで共有しながら実際に絵に描いてみるワークショップです。講師が旅や松本での生活の中で見つけた「大好きな街」のエピソードも紹介します。

(セミナーの様子)



講師の栗谷さと子さん



中村支部長による SDGs 講義



グループワークの様子



完成イラストの発表と記念撮影

令和4年度の地域づくりネットワーク長野県協議会松本支部事業を午前と午後の2部構成で開催しました。

午前は、「子ども達が未来に希望を持てる地域とは」をテーマに、子育て支援団体「子どものミカタプロジェクト」代表の上間春江さんによる講演とグループディスカッションを実施しました。参加者には、日ごろから子育て支援の活動をされている方も多く、今の子どもたちの現状や地域における子育て環境等について多くの意見交換が行われました。

午後は、「こどもとおとなのつながりから始まる街づくり」をテーマに、イラストレーターの栗谷さと子さんに、国内・国外の多くの街を訪れられたご自身の経験を通じた地域づくりに関する講演と、参加者が理想とするまちのイメージをイラストにするグループワークを実施しました。

また、午前と午後のプログラムにおいて、松本支部の中村支部長 (風土考房トナカイ代表) から、SDGsの考え方や観点について説明をいただき、本セミナーを通して、SDGsによる地域づくりについての普及啓発を図る機会とすることができました。